

## 第4・5学年 国語科学習指導案

日時 平成16年10月22日(金) 5校時

授業者 佐藤玲子

(第4学年) 男子4名 女子3名 計7名

- 1 単元名「大事なことを落とさずに話し、メモをとりながら聞こう」

教材名「電話で約束」

### 2 単元設定の理由

#### (1) 単元について

第3学年及び第4学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる」ことである。また、それらの能力を高めるために、(ア)伝えたい事を選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと、(イ)話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめること、(ウ)互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合うこと、の事項について指導することになっている。

本単元は、電話を使うときの話し方、聞き方で大切なことを理解し、生活に役立てることをねらいとしている。話す側は、相手のもっている情報を勘案しつつ、何を伝えるべきかよく考えて話さなければならない。聞く側も、伝達されたことに落ちがないか、聞き違いはないかなどを確認する必要がある。電話などで伝言を受け取ることも増えてくる時期であるので、日常生活の経験とも結び付けつつ、「話すこと・聞くこと」の基礎を学ばせるよい学習活動であると考えられる。

#### (2) 児童について

児童はこれまで、「みんな、子どもだった」の学習において、直接人に会ってインタビューするという内容の学習を経験してきた。そこで、話す

(第5学年) 男子5名 女子2名 計7名

- 1 単元名「話の組み立てや言葉づかいを考えてたずねよう」

教材名「インタビュー名人になろう」

### 2 単元設定の理由

#### (1) 単元について

第5学年及び第6学年の「話すこと・聞くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる」ことである。また、それらの能力を高めるために、(ア)考えた事や自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと、(イ)話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと、(ウ)自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと、の事項について指導することになっている。

本単元は、目的や内容を明確にし、相手に応じた言葉遣いでインタビューすることをねらいとしている。インタビューの場であらかじめ決めておいたことを機械的にインタビューし、聞きたいことに対する答えを得るだけでなく、目的や意図を明らかにして話の組み立てを工夫し、目的や場に応じた言葉遣いで話す力、また相手の意図をつかみながら聞く力を育てたい。インタビューの技能は、国語科のみならず総合的な学習の時間などさまざまな場面で必要とされるものである。ここでインタビューの技能を身に付け、日常生活で実際に活用できるようにしたい。

#### (2) 児童について

児童はこれまで、国語科や社会科、総合的な学習の時間の中で、インタビューをする経験をしている。それは、自分がききたいことを質問するの

ときは相手によく分かるように話すこと、聞くときは大事なことを落とさずに聞くことを学習してきた。日常の活動では、帰りの会でのスピーチで自由な話題で話すことなどの活動をしてきた。

しかし、話を人に聞いてもらうことに意欲的な児童が多い反面、アンケートを見ると「進んで発表しようとしている」と感じている児童は半数であり、まだまだ不十分であると自己評価している。また、アンケートでは「分かるように話している」という児童がほとんどではあったが、実際は話したいことが先に立ち、聞き手を意識して分かりやすく話そうとしている姿の見られない児童もいる。職員室での話し方を見ても、相手や場を考えて話すというところには至っていない。また、形としては聞いているように見えても、アンケートを見ると相手の話したい事を中心は何かなどを考えながら聞くことはできていない。

そこで本単元では、「相手に分かるように順序よく話す」「大切なことに気を付けて聞く」「相手に応じた適切な言葉遣いで話す」などの力を育てたい。

### (3) 指導にあたって

学習を進めるにあたって、はじめに教科書の例にある電話での話し方や聞き手の聞き方から、正しく伝わらない原因は何かを、話す側、聞く側の双方から考えさせる。そのうえで、日常的な場面を想定させ、電話で伝え合うことの練習をさせたい。その際、メモを活用すると間違いが少ないことも経験させ、効果的なメモのとり方についても考えさせたい。また、相手や状況に応じて言葉遣いが変わることに気付かせ、話し方を工夫させたい。

が主で、インタビューの様子を他の聴衆に聞かせるというものではない。また、準備した質問をすることはできるが、相手の返答に応じて質問を返したりすることができる児童は少ない。日常の活動では、帰りの会でのスピーチで自由な話題で話すことなどの活動をしてきた。内容をよく考えて聞き手に分かりやすく発表できる児童が多く、メモをもとに長い時間話したり、大事なことを落とさないで聞こうとしたりする態度はできてきている。自己評価でも、考えをもち、分かるように、場や相手を考えて話しているという児童がほとんどである。話し合いでも、全員が進んで話し合いに参加しているという自己評価をしている。しかし、自分の意見を説得力があるように話すことができている児童は少なく、ただ発表することだけに意義を感じている児童も少なくない。

そこで本単元では、「話したい、聞きたい」という子ども達の気持ちを大事にしなが、インタビューのときの話す力・聞く力を伸ばしたい。

### (3) 指導にあたって

学習を進めるにあたっては、インタビューした経験を振り返り、インタビューをする際に気を付けなければならないことをとらえさせたい。次に、教科書の例文を使いながら、インタビューをする際に必要な事項を確認する。それから、だれに何を何のために伝えたいかというインタビューのテーマを決めさせ、資料作りをし、話の組み立てを考えさせたい。評価の場面では、自分達のインタビューの仕方を自己評価・相互評価させながら、さらなる課題を見つけ出したり、互いのよさを学びあったりして、インタビューの仕方についての学習をさらに深めさせていきたい。

### 3 単元の目標

電話を使うときの話し方、聞き方で大切なことを理解し、生活に役立てることができる。

#### < 関心・意欲・態度 >

- 電話で内容を相手に正確に伝えるためには、どのような話し方や聞き方をすればいいかを考えながら、進んで話したり聞いたりしようとする。

#### < 話すこと・聞くこと >

- 目的や内容に即して大切なことを考え、相手に正確に分かりやすく話すことができる。  
(話・聞ア)
- 大切なことに気を付けて聞くことができる。  
(話・聞イ)

#### < 言語事項 >

- 大事な言葉の話し方・速さ・間の取り方が分かる。(言語ア(ア))
- 相手に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。(言語カ(ア))

### 3 単元の目標

話の組み立てや言葉遣いを考えてインタビューの練習をし、自分の学習に生かすことができる。

#### < 関心・意欲・態度 >

- インタビューの計画を立てたり、相手とのやり取りを工夫したりしながら楽しんでインタビューをしようとする。

#### < 話すこと・聞くこと >

- 自分の聞きたいことを、自分の意図が分かるように話の組み立てを工夫しながら、相手や場に応じた言葉遣いでインタビューすることができる。(話・聞ア)
- 話の意図や組み立てを考えながら、相手の話を聞くことができる。(話・聞イ)

#### < 言語事項 >

- インタビューのときによく使われる敬語の使い方に慣れる。(言語カ(ア))

4 単元の指導計画 (4時間扱い) 4年

時	目 標	学習内容・活動	評 価 規 準			手だて < 言語意識 >
			関心・意欲・態度	話す・聞く	言語事項	
つかむ	電話で伝える場合に、内容が正しく伝わるために大事なことは何かに気付くことができる。	・教科書の例をもとに、電話で伝える場合に、内容が正しく伝わるために大事なことは何かを話し合う。	・電話で伝える学習の中で課題を持って学習に取り組もうとしている。	・伝えたいことが正しく伝わらなかった原因は何かを考え、大切なことは何かを考えている。	・目的や内容に即して大切なことを考え、相手に正確に分かりやすく話している。	・うまく伝わらなかった例を挙げ、役割演技をすることで、その原因に気付くことができるようにする。 目的意識
ふかめる	効果的なメモのとり方をして、電話で正しく伝えたり、聞いたりすることができる。	・電話で伝え合う実演をし、メモのとり方を練習する。	・電話で話すとき・聞くときにメモをすることのよさに気付き、効果的にメモを活用しようとしている。	・電話で話すとき・聞くときに効果的なメモのとり方について考え、自分のメモに生かしている。	・相手に応じた適切な言葉遣いで話している。	・友だちのメモを比較しながら、よいメモのとり方に気付かせる。 目的意識
	相手や状況に応じた言葉遣いで電話をすることができる。	・日常のいろいろな場面を想定し、電話で伝え合う練習をする。	・状況を想定して、話し手や聞き手の役をして練習しようとしている。	・相手や目的・内容に即して大切なことを考え、相手に正確に分かりやすく話している。	・相手に応じた適切な言葉遣いで話している。 ・大事なことが、正確に伝わる話し方をしてしている。	・状況の設定が難しいときは、教師から例示し、練習に取り組みやすいようにする。 相手意識
まとめる		・「電話で伝言ゲーム」をする。	・今までの学習の成果を生かして、ゲームを楽しんでいる。			・速さを競うのではなく、正確さを競うこと、失敗しても責めないことなど、ゲームのルールを確認して取り組ませる。 目的意識

5 本時の指導 ( 3 / 4 ) 4 年

( 1 ) 目標

相手や状況に応じた言葉遣いで電話をすることができる。(話・聞ア)

相手に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。(言語力(ア))

大事なことが、正確に伝わる話し方ができる。(言語ア(ア))

( 2 ) 授業仮説

相手に応じた話し方について話し合い、それをもとに練習する中で相互に評価していけば、相手や状況に応じた言葉遣いで電話をすることができるのではないか。(研究仮説2)

( 3 ) 展開

具体の評価規準と手だて	支援と指導上の留意点	学 習 活 動	段階
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し方・聞き方の両方のポイントを確認する。</li>   <li>・ 相手が変わることで話し方も変わることを確認する。</li> </ul>	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話で伝えるときに大切なことを確かめる。</li> </ul> <p>話し方のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所や内容によって、大事なこと(用けん・時間・場所など)は何かを考え、それを落とさずに伝える。</li> <li>・ 分かりやすく(はっきり、ゆっくり、くり返して)伝える。</li> </ul> <p>聞き方のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 正かくに聞き取り、大事なことはメモをとる。</li> <li>・ 聞き取れなかったところや分からないところは、聞き返す。</li> <li>・ 相手が言ったことを、自分でくり返すなどして、たしかめる。</li> </ul> <p>2 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> <p>相手におうじた話し方で、正しく伝えたり、聞いたりしよう</p> </div>	<p>つ か む</p> <p>5 分</p>
<p>A 相手の立場を考えて、相手や状況に応じて話すときに大切なことを考え、聞き手に分かるように話すとともに分からないことを聞き返している。</p> <p>B 相手や目的・内容に即して大切なことを考え、相手</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちと話す場面と大人と話す場面の2つをメモの形で与え、その相手に応じた話し方を考えさせる。</li> <li>・ 各自が考えたことを発表させ、話し合わせる。</li> </ul>	<p>3 与えられた状況でどんな話し方をすればいいかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちが出たときは親しい言葉で話す。</li> <li>・ 家族が出たときは丁寧な言葉で話す。</li> </ul>	<p>ふ か め る</p> <p>30 分</p>

<p>に正確に分かりやすく話している。</p> <p><u>達成不十分な子どもへの手だて</u></p> <p>友だちがいるときといないときの状況や、友だちと大人という相手に応じた話し方を考えて、相手が分かり易いように相手の立場になって話をさせる。</p> <p>(発言・メモ・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し手と聞き手の役を交代しながら練習させる。</li> <li>・ 大人と話す場面と友だちと話す場面の2つを発表させ、話し方の違いを確認する。</li> <li>・ 話す相手、目的、内容を考えさせ、メモを作るように話す。</li> <li>・ 学習リーダーを中心に、2人(3人)一組で発表させる。</li> <li>・ 相互に評価をさせ、相手に応じた話し方ができているかを確認する。</li> </ul>	<p>4 2人(3人)一組でメモをもとにして電話をかける練習をする。</p> <p>5 練習したことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 与えられたメモを見ながら電話をかける。</li> <li>・ 聞き手は、分からないところを聞き返す。</li> </ul> <p>6 自分達で状況を設定して電話をかける練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えるメモを作って電話をかける。</li> <li>・ 聞き手は、メモをとりながら聞き、分からないところを聞き返す。</li> <li>・ 聞き手のメモの内容が正しいかを確認する。</li> <li>・ 話し方について相互評価する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し手・聞き手の両方の立場で振り返り、自己評価させる。</li> <li>・ 自分や友だちのがんばったところを発表させ、意欲付けにつなげたい。</li> <li>・ 正しく伝えるゲームをすることを告げ、学習への意欲につなげる</li> </ul>	<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己評価する。</li> <li>・ 感想を書いて発表する。</li> </ul> <p>8 次時の学習について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝言ゲームをしながら電話をかける練習をすることを確認する。</li> </ul>	<p>まとめ</p> <p>10分</p>

4 単元の指導計画 (6時間扱い) 5年

時	目 標	学習内容・活動	評 価 規 準			手だて <言語意識>
			関心・意欲・態度	話す・聞く	言語事項	
つ か む	インタビューの体験を振り返り、気を付けたい点に気付くことができる。	・インタビューした体験を振り返り、学習のめあてや計画について話し合う。	・体験をもとに、課題をもって学習に取り組もうとしている。	・インタビューのときに気を付けたいことについて考え、発表している。		・インタビューがうまくいかなかった例を挙げ、その原因に気付かせる。  目的意識
	インタビューの基本的事項について理解し、インタビュー活動への意欲をもつことができる。	・教科書の例文をもとにインタビューに必要な要素を確認し、今後の学習のめあてをもつ。	・役割演技に積極的に参加し、インタビューの際に気を付けたいことを考えようとしている。	・インタビューのときに気を付けたいことを理解している。		・役割演技をすることで、インタビューのときの話の組み立てや相手とのやり取りに気付かせる。 相手意識
ふ か め る	インタビューを行うための計画を立てることができる。	・だれに何を何のために伝えるかというテーマを決め、インタビューの相手や組み立てを考える。	・テーマと相手を決め、組み立てをワークシートに書こうとする。	・話の組み立て方に気を付けながら、インタビューをするときの資料作りをしている。		・インタビューの目的をはっきりさせてテーマを決めさせる。 目的意識  相手意識
	インタビューで気を付けたい点に留意しながら、インタビューの練習を行うことができる。	・前時に作成したワークシートをもとに練習を行い、自己評価・相互評価をしてよりよい組み立てを考える。	・ワークシートに書き込んだことをもとに、意欲的に練習に取り組もうとしている。	・話の組み立てや相手とのやり取りに気を付けながらインタビューの練習をしている。	・敬語の使い方に気を付け、適切な言葉遣いで話している。	・インタビューの練習の様子をメモし、評価に生かすようにさせる。  目的意識  相手意識
	前時の練習の反省をもとに、話の組み立てや相手とのやり取りに気を付けながら実際にインタビューをすることができる。	・練習をもとに組み立てを修正し、実際にインタビューをして、相互評価のメモを作る。	・前時の練習をもとに、インタビューをしようとしている。 ・インタビューを聞き合い、助言するためのメモをしようとしている。	・練習の反省をもとに、よりよいインタビューの組み立てに修正し、話の組み立てや相手とのやり取りに気を付けながらインタビューしている。	・敬語の使い方に気を付け、適切な言葉遣いで話している。	・インタビューする相手について聴衆によく知ってもらうことに集中させる。  目的意識  相手意識
ま と め る	前時のインタビューの学習を振り返り、これからの話し合い活動に生かすことができる。	・前時のインタビューのテープを聞きながら、相互に評価し合う。	・互いのインタビューのよさを発表しようとする。	・相互評価しながら、互いのインタビューのよさに気付いている。		・自分たちの前のインタビューの仕方と比べて向上した点に気を付けて聞かせる。

5 本時の指導(4 / 6) 5年

(1) 目標

インタビューで気を付けたい点に留意しながら、インタビューの練習を行うことができる。  
(話・聞ア)

敬語の使い方に気を付け、適切な言葉遣いで話すことができる。(言語力(ア))

(2) 授業仮説

インタビューする相手について、聴衆により深く知ってもらおうという目的に沿ってインタビューで大切な点に気を付けながら練習し、聴衆に伝わったかどうかという観点で評価し合うことで、よりよいインタビューの仕方を見つける練習ができるのではないか。(研究仮説1・2)

(3) 展開

段階	学 習 活 動	支援と指導上の留意点	具体の評価規準と手だて
つかむ 5分	<p>1 前時の学習を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インタビューの目的と相手 を確かめる。</li> </ul> <p>目的・・南股小学校の活動を 知らせる。</p> <p>インタビューする相手 (グループ毎)</p> <p>伝える相手・・本年度いらし た先生方</p> <p>2 学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>話の組み立てやインタビューする相手とのやり取りに気を付けながらインタビューの練習をしよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的意識・相手意識(インタビューする相手と伝える相手)をはっきりともたせるために確認しておく。</li> </ul>	
ふかめる 30分	<p>3 インタビューで大切なことを確認する。</p> <p>インタビューの仕方のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話がそれたときは、元にもどす。</li> <li>相手が話しやすいように考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習リーダーを中心に、ここでは、実際にインタビューをする場面でのポイントのみを確認する。</li> </ul>	



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手が言ったことを受けて話す。</li> <li>・ 答えやすいたずね方をする。</li> <li>・ 言葉遣いを考える。</li> <li>・ 相手の顔を見て、相づちをうちながら聞く。</li> </ul> <p>4 確認したことをもとにもう一度原稿を見直し、構成する。</p> <p>5 インタビューの練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ毎にインタビューする役とされる役になり、進め方を演技してみる。グループの他の児童は、その補助をする。</li> <li>・ 他のグループの児童は、その様子を見て相互評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ毎に、インタビュー役の児童を決め、やり取りをしながら構成を見直すようにさせる。</li> <li>・ 原稿をもとに、こう答えるのではないかという想定で練習させる。</li> <li>・ 聞きながらインタビューの様子をメモする時間をとり、相互評価に生かすようにさせる。</li> <li>・ 聴衆に伝えたいことが伝わったかという観点で、よいところや改善したいところを具体的に挙げながら評価させる。</li> <li>・ 児童が気付かない点については教師からの評価で補う。</li> </ul>	<p>A 話の組み立て方を工夫し、相手の話をうけながら的確にやり取りし、目的に沿って丁寧な言葉遣いでインタビューの練習をしている。</p> <p>B 話の組み立てや相手とのやり取りに気を付けながらインタビューの練習をしている。</p> <p>達成不十分な子どもへの手だて 目的に沿ってインタビューをし、相手の話を引き出すように助言する。 (ワークシート・発言)</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感想を書いて発表する。</li> </ul> <p>7 次時の学習について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の練習をもとに構成の手直しをしてからインタビューに入ることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や友だちのがんばったところを発表させ、意欲付けにつなげたい。</li> <li>・ 伝える相手に分かりやすいインタビューにするように話し、学習への意欲につなげる。</li> </ul>	

